

やまなしの女性史を学ぶ

堀内幸枝^{さちえ} * 内藤ます

本講座 10 年目の今年は、約 100 年の時を隔てて誕生した二人の山梨の女性を取り上げます。

1920 年、一宮町市之蔵の豪農の長女として生まれた堀内幸枝は、県立山梨高女の女学生であった頃から詩作を始め、詩集『村のアルバム』など、故郷一宮をうたい続けた現代の女性詩人のさががけです。平成 25 年の山梨国民文化祭では「堀内幸枝の詩の世界に遊ぶ」というテーマで「現代詩の祭典」が開催されました。

第 1 回講座では、幸枝の姿をずっと見続け、経済学者でありながら詩人としても活躍してきた長女の谷口典子さんに、詩人として、母として、また妻としての幸枝を、その詩も紹介しながら語っていただきます。

第 2 回講座の内藤ますは幸枝誕生の約 100 年前、1823 年に甲府で生まれました。今年開館した県立近代人物館には山梨に貢献した人物 50 人が取り上げられましたが、そのうち女性はたった 6 人。ますは、その数少ない女性のうちの一人です。波乱に富んだ人生を送たますですが、明治初期の山梨の女子教育に多大な貢献をしました。夫や息子（内藤伝右衛門）を支え、現在の山梨日日新聞の土台づくりにも寄与したますの生涯を紹介します。

【第 1 回】「ふるさと一宮をうたい続けた詩人 — 母、堀内幸枝を語る」

講 師：谷口典子（東日本国際大学名誉教授・詩人）

コーディネーター：吉原五鈴子（元県立男女共同参画推進センター館長・プロジェクトメンバー）

11 月 15 日（日）午後 1：30～4：00 小研修室

■対象：どなたでも（要事前予約）■定員：40 名 ■受講無料

【第 2 回】「山梨県女子教育のさががけ — 内藤ますとその周辺」

講 師：山中淑子（やまなし地域女性史「聞き書き」プロジェクト）

コーディネーター：池田政子（山梨県立大学名誉教授・プロジェクト代表）

11 月 22 日（日）午後 1：30～4：00 小研修室

■対象：どなたでも（要事前予約）■定員：40 名 ■受講無料

後援：笛吹市教育委員会・山梨県詩人会

主催・お問合せ

山梨県立男女共同参画推進センター

ぴゅあ総合

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077

〒400-0862 甲府市朝気 1-2-2

sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp



「ぴゅあ総合フェイスブック」で検索！
「いいね」すると最新情報が受け取れます。

無料託児あります。



6か月～就学前
3日前までに
ご予約ください。



ツイッターはじめました！

AccessMap

